

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月28日		記入者		連絡先 49-2215
部 名	土木部	課 名	南土木事務所		課長名 八木 博
事務事業名	私道路整備事業				
予算上の事務事業名	私道路整備事業 南土木事務所分				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	32220	
基本目標	Ⅲ「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます				
基本施策名	第2節 安全でゆとりある道路の整備				事業開始年度
施策名	第2施策 身近な生活道路の整備				平成元年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	相模原市私道路整備要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	建築・整備・重要物品購入				▼
5 事業概要	<p>(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)</p> <p>生活環境の改善と安全で住み良いまちづくりに寄与するため、私道路の簡易舗装整備を行う。</p>				
	<p>(2) 対象 (誰、何)</p> <p>私道路を利用する不特定多数の車両、歩行者</p>				
	<p>(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。</p> <p>4箇所 延長 L=163.8m 舗装面積 A=615㎡</p>				
6 関連・類似事業や他市の状況	他市においても同様な事業を実施している。				
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	4,760	3,222	3,711	5,000	5,000
一般財源	4,760	3,222	3,711	5,000	5,000
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	801	807	805	805	805
事業コスト合計	5,561	4,029	4,516	5,805	5,805
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	私道路整備事業			対象名称 と単位	整備延長 (m)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	5,561	4,029	4,516	5,805	5,805
対象数	255	146	164	205	205
単位あたり経費(円)	21,808	27,596	27,537	28,317	28,317
前年度比		1.27	1.00	1.03	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	整備延長（m）	指標式と指標の説明	整備実施延長/予算要求延長 整備実施率		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	255.0	145.8	163.8		
目標	365.0	280.0	205.0	205.0	205.0
目標達成度（%）	69.9	52.1	79.9		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	整備件数（件）	指標式と指標の説明	整備済件数/整備要望件数 要望充足度		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	6.0	2.0	4.0		
目標	6.0	3.0	3.0	5.0	5.0
目標達成度（%）	100.0	66.7	133.3		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		市内には、まだ様々な理由により寄附による道路整備を行うことができない箇所がある。このため、通行の用に供している砂利道を解消し、安全で住み良いまちづくりの実現のために継続して事業を進めて行く。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 申請受付から工事実施までの期間を短縮することにより、事業効果の向上が期待できる。			14 課題として認識されたこと 路面のみの舗装整備のため、路面排水に問題を残すケースもある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			